

三島のNPOに環境大臣賞

河川の再生活動評価

河川の再生などに取り組むNPO法人「グラウンドワーク三島」(三島市)がこのほど、第18回日本水大賞の環境大臣賞を受賞した。20年以上にわたる河川の改善活動を通じ、「水之都・三島」の原風景を劇的に再生・復活させたことが評価された。6月に東京都内で表彰式が行われる。

同団体は、市民や行政と協働し、環境悪化が進んでいた源兵衛川、松毛川、境川の3河川を中心に希少種の保護や水辺の再生活動に取り組んできた。その結果、消滅していた三島梅花藻や絶滅危惧種のホトケドジョウが復活。子供たちが川遊びに興じ、ホタルが舞う清流に蘇らせた。

日本水大賞は、水循環の健全化を図ることを目的に、国土交通省などが毎年

開催している。今回は全国151件の応募があり、同団体は大賞に次ぐ6つの大臣賞のうちの一つに選ばれた。

渡辺豊博専務理事(65)は「故郷の宝を再生する事業が評価され、大変光栄に思う。今後も自然豊かなまちづくりに貢献していきたい」と話している。